基本理念

一、私たちは〝地域医療支援病院〟として、医師会会員ならびに各医療機関との医療連携をもとに、高い医療レベルを堅持、地域医療の向上に貢献します

二、私たちは患者の立場を尊重し、その信頼と期待に応え、誠実に〝心ある医療〟を心がけます

三、私たちは、変革する医療情勢に対処しながら、地域住民の福祉・保健医療サービスの確立に努め、医療センター内外に積極的に活動します

四、私たちは、職員としての〝誇りと責任〟を自覚し、つねに自己研鑽を重ね、互いに協力して、医療センターの発展に努めます

医の心

患者さんの悩み、苦しみ、痛みに共感する心

患者さんに慰めの手、いたわりの手が自然に出る心

患者さんのために尽くす心

患者さんに真実を伝えて納得同意を得るように努める心

外来診療一覧表

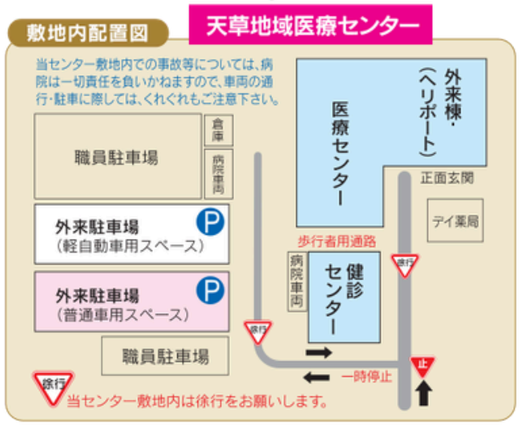
平成30年7月現在

		診療科目	月	火	水	木	金	受付時間
一般外来		脳神経外科	植村・坪田			植村・坪田		7:30~11:30 ※急患については24時間対応
		外　科		原田・吉仲・髙田			原田・吉仲・髙田	
		整形外科	大江・堀内		堀内・前川		大江・山田	
		循環器科	境野・永吉		境野・永吉		境野	
		消化器内科			坂井	松下・中島		
		代謝内科	平島	平島	八木	平島・八木		
		放射線科		吉田(守)				
		泌尿器科	山中	脊川				
		呼吸器内科		済生会より		済生会より		
小児科外来		小　児　科	吉田(史) 野中	渡邉	吉田(史) 野中	野中	吉田(史) 渡邉	8:00~11:30 13:45~16:00 ※急患については24時間対応
特殊外来		総合診療科	毎週 木・金曜日[9:00~16:00]					8:00~11:30 予約制
		神経内科	月 4 回 土曜日					
		リウマチ膠原病科	月1~2回 土曜日					
		消化器内科	月 2 回 土曜日					
		パーキンソン外来	月 1 回 土曜日(再診のみ) 後藤					

(平成30年1月4日~外来日割り用)

当センターへのご案内図





一般社団法人　天草郡市医師会立

天草地域医療センター

院長　原田 和則

〒863-0046 熊本県天草市亀場町食場854番地1

TEL 0969-24-4111(代表)

FAX 0969-23-4086　URL http://www.amed.jp

天草地域医療センター広報誌

あまいせ便り

2018.July

vol.11

【編集・発行】
天草地域
医療センター
新聞広報委員会



崎津集落と崎津教会



糖尿病ウォークラリーの様子

祝 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産
世界文化遺産登録

ごあいさつ

院　長　原田　和則



気象庁の長期予報では、今年は例年にも増して長く暑い夏になりそうだとのことです。高齢者の多い天草の方々にはしっかりとした猛暑対策が必要のようです。

さて、３月には日本医療マネジメント学会第２０回熊本支部学術集会を当地にて開催させていただきました。本学会は、医師のみで無く、医療に関わる多職種の会員で構成され、医療連携や医療安全なども含めた多岐に渡る問題を討議するある意味ユニークな学会です。今回は、吃緊の課題である地域包括ケアや在宅医療について県内の各医療圏での取り組みを提示・討議していただく良い機会と捉えました。２ つのシンポジウムでは熊本市のような人口が密集し、多くの充実した医療施設に恵まれた地域、衛星都市的な医療圏、過疎傾向が進み既に超高齢者地域となっている医療圏など、それぞれの地域の特性を踏まえた「地域包括ケア構築」への取り組み方が紹介され、今後の方策や問題点が討議されました。

天草という県内ではもっとも遠方での開催ではございましたが、130 題余りの多くのご演題をご発表いただきまして無事に開催することが出来ました。「地域でささえる医療と介護」を主題とした本学会でのさまざまな討議を通して、「地域の人を地域で診る」という共通の課題について、それぞれの医療圏、参加者にとってなにかしら有益な情報を持ち帰っていただけたのではないかと思っております。関係各位の皆様方に厚く御礼申し上げます。

４月には本誌にも紹介頁がありますように、各診療科医師、研修医、看護師をはじめ多職種の新しい多くの仲間を迎えることが出来ました。彼らとともに、

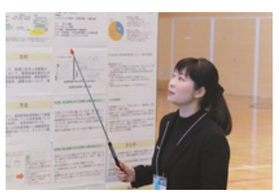
Amakusa Medical Center の AMC にちなんだ標語「A：明るく !、M：前向きに !、C：力を合わせて !」

をモットーに、全職員を挙げて天草の地域住民のために頑張り続けてまいります。医師会をはじめ関係各位のさらなるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

【第20回日本医療マネジメント学会熊本支部学術集会】

メインテーマ『地域でささえる医療と介護』　平成30年3月17日（土）　於：天草市民センター











シンポジウム　地域包括ケアシステムの具体化に向けた取り組み

「ひかりワンチームSP」を用いた多職種連携ネットワーク事業



（医）ひじり・荘田医院理事長
荘田 恭聖 先生

事業の背景 ー地域包括ケアシステムの構築ー

- 在宅で療養を受ける事を希望しても、症状が重い、不安定である、終末期である、認知症、家族に迷惑をかけたくない、家族が介護できないなど種々の理由で叶っていない現実がある。
- なんらかの方法で、希望を叶えられるようにしてゆく必要がある。
- 対策として、多職種が連携してＩＣＴを活用し、チームとして治療・ケアに当たる方法がある。



天草におけるトライアル　（2016年10月～2017年3月）

- 天草地域医療センターと他の医療機関と連携しており、在宅での療養を希望しているが困難を伴う４症例を登録し、トライアルを実施した。
- その結果システムが有用であり安全である事を確認できた。

個々の事例でPDCAサイクル実施

- チームメンバーが揃って会議を開催
- チーム目標とモニタリング項目を決める
- それに沿ってケアとモニタリングを行う
- 一定期間後に会議を再開　目標の達成度などについての評価を行う
- 新たな課題などについて協議し、チーム目標とモニタリング項目をリセットする



2016年12月 症例検討会

トライアル　天草多職種連携ICTネットワーク事業	
10月12日	キックオフミーティング
11月９日	第１回
12月14日	第２回
１月18日	第３回
２月22日	第４回　症例検討会
３月８日	報告会兼慰労会

天草郡市医師会理事会にて事業継続を決定	
2017年	
４月１日	NTTテクノクロス社と約款契約締結
４月25日	医師会員を対象に説明会
６月10日	医療センター院内学会（平島Dr）
６月15日	多職種説明会　ヒポクラート
６月16日	同　松島アロマホール
７月18日	苓北医師会病院
７月19日	牛深総合センター
８月８日	プロジェクト検討会　部会開催
10月２日	第一回　ICT運営協議会
10月18日	ICT　事例検討会
2018年	
１月26日	第二回　ICT運営協議会
３月12日	プロジェクト検討会　部会

ひかりワンチームSP　特徴

1 チーム目標があり、連携の意義が明確
2 モニタリング画面を個別化できる
3 ボタンをチェックする操作で入力が簡便
4 「見ました」機能がある
5 リアルタイム機能あり
6 専用端末（有料）がある
7 国の医療情報ガイドラインに則っている

第５版	平成 29 年５月	医療機関等を対象とするサイバー攻撃の多様化・巧妙化、地域医療連携や医療介護連携等の推進、IoT 等の新技術やサービス等の普及への対応として、関連する１章、６章等を改定するとともに、第 4.2 版の公表以降に追加された標準規格等への対応を行った。 また、改正個人情報保護法や「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」等への対応を行った。（本ガイドライン６章、８章、付則１及び付則２の記載事項については、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」Ⅲの４の（4）「医療情報システムの導入及びそれに伴う情報の外部保存を行う場合の取扱い」において、本ガイドラインによることとされている。）

医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第５版

症例報告

症例1　80歳代男性

30歳代で失明、身障者1級。
16年前より高血圧などで通院中であったが突然、発熱、黄疸、腹痛を生じた。精査の結果進行した膵頭部癌によることが分かった。



問題点　導入前の3ヶ月間
- 末期膵臓がんで閉塞性胆管炎を反復　頻回に短期入院、内視鏡によるステント入れ替え術を要した
- 認知症による夜間せん妄が激しく長期入院ができない
- 膵性糖尿病あり、食欲が不安定で低血糖と高血糖のリスクが高い
- 家族の介護負担が大きい
- 本人は入院を拒否

ICTシステム導入後の経過
- 認知症の対応が可能となる
- 胆管炎は頻繁には起きず　黄疸が消失
- デイサービス利用、訪問看護とかかりつけ医、代謝内科、消化器内科への定期受診で、安定した穏やかな療養期間を得られた
- 夫人の介護負担が軽減
- ＋6ヶ月　腫瘍増大の為十二指腸閉塞、摂食不能となる
- 癌性疼痛のため塩酸モルヒネを筋注
- 自宅で安らかな最期を迎えた

症例2　80代後半の女性

20年前高血圧で治療開始
19年前　脂肪肝指摘　（B型、C型陰性）
14年前　2型糖尿病
3年前胸椎の圧迫骨折でADL低下
半年前より肝機能が悪化
3ヶ月前腹水貯留で入院
非代償期肝硬変で対症療法のみを実施

ICT導入直前の問題点
- ぼんやりしている事が多くなった。高アンモニア血症があり、肝性脳症である事が分かった。
- 意識状態はうつろい、食事が不安定。
- 主介助者である娘が仕事のため日中不在となる。
- 在宅での療養を強く希望。

ICT導入後の経過
- 日中に訪問看護でアミノレバンなどの点滴を行い、ケアマネジャーとヘルパーも含めて見守りの体制を整えた
- 意識状態などバイタルサインのモニタリングを実施
- 経過中に昏睡に陥り、救急搬送されたが、意識回復後に帰宅を希望
- 1ヶ月半の療養の後、安らかに永眠された

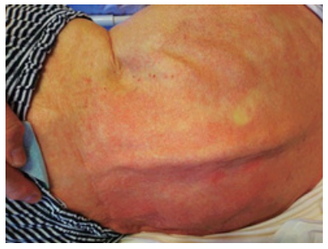
症例3　80代後半の女性

18年前より歩行が遅くなり、その後脊髄小脳変性症と診断された。次第に進行し、3年前誤嚥性肺炎での入院を機に寝たきり状態となった。狭心症と僧帽弁閉鎖不全あり。

導入前の問題点
- 呼吸筋群の萎縮があり、呼吸困難がある
- 咀嚼、嚥下機能低下があり経口摂取が困難
- 低栄養で褥瘡や感染症のリスクが大
- 狭心症発作が起き　弁膜症の心不全もある
- 夜間の喀痰吸引や体位変換の為の介護負担が大きい
- 本人は在宅での療養を強く希望、胃瘻造設や気管切開は行わない方針



導入後の経過
- 在宅酸素療法、訪問看護、訪問リハビリを開始　呼吸数、SpO2、バイタルサインをモニタリングし酸素流量を調節、安定した在宅療養が可能であった。
- 2ヶ月後、狭心症発作が生じ、ニトロール舌下で対応したが、頻発する為ヘルベッサーRを投与したところ薬疹を生じた。薬疹消失後、アダラートCRに変更し、胸痛発作は減少した。



経過2
- その後安定はしていたが、徐々に摂食機能が低下し、食べられるものが減っていった。
- 栄養状態が悪化し体重が減少。
- 5ヶ月目、お粥とペースト状のキウイフルーツを与え、OS1を飲ませようとしたところ誤嚥し、肺炎を生じた。
- LVFX投与などで軽快。
- 6ヶ月目、同様の誤嚥があり、低酸素血症となる。1日半後永眠された。

症例4　グループホーム入所中90代後半の女性

心不全のため総合病院に2度の入院
予後不良であることを告げられた
在宅酸素療法開始、肺浮腫と脱水リスクありICTで水分出納のモニタリングを行った
誤嚥性肺炎はあったが5ヶ月間の安定した療養が可能であった
ある日、食物を誤嚥し、その3時間後に死去したが静かに看取る事ができた

看取りに関する考察　共通点
- ご本人が在宅での療養を強く希望しており、かつ、家族がその事を理解していた。
- チームが目標や課題を共有し、ICTを活用して迅速に情報を共有、状態を把握できた事で治療やケアを一体化したものとして提供できた。
- ご本人、家族にはチームとして見守られているとの安心感があり、信頼関係を構築できた。

地域医療の質に関する考察
- 休日など主治医の不在時に急変した場合でも、訪問看護師、ケアマネなどの情報提供でより迅速で的確な対応が可能となる。
- 将来的には救急医療機関などが緊急チーム参加するような仕組みも可能。
- 地域を病院化する事に一歩近づける。

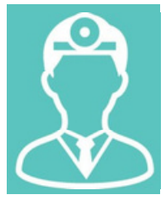
まとめ
- 天草郡市医師会ではNTTテクノクロス社の提供するICT「ひかりワンチームSP」を用いてチーム医療を実践する事業・天草在宅ネットを実施している。これまで11名の医師が登録。
- これを用いて不安定で困難を伴う4症例に治療とケアを行い、在宅で看取る事ができた。
- 事業の普及、推進を図る事が地域包括ケアシステム構築に繋がるものと考えられる。

退任のご挨拶　お世話になりました



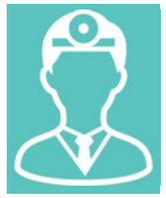
消化器内科
平岡 昌晃

3月で天草地域医療センターを退職することとなった消化器内科平岡です。H21年4月に消化器内科立ち上げの時から勤めさせていただき、9年間もの長い間勤務できたのも、共に天草に赴任となった坂井先生をはじめとして、関わっていただいた方々のおかげだと感じております。大変お世話になりました。4月から熊本総合病院での勤務となりますが、天草で過ごした9年間で得たものを活かし、これからも精進していきたいと思います。今まで大変ありがとうございました。



循環器科
山永 健之

2年間大変お世話になりました。4月からは荒尾市民病院での勤務となりますが、またどこかで皆様とお会いできる日を祈っております。2年間本当にありがとうございました。



小児科
塵岡　健

小児科の塵岡健です。6年間大変お世話になりました。色々な理不尽な事や不快な事が私のせいであったかもしれません。この場を借りて謝罪します。すいませんでした。私は6年間大変有意義に天草を満喫することができました。全て皆さまのおかげです。次は地元である玉名の玉名中央病院に勤務します。皆様もお身体に気を付けてお過ごしください。玉名に来た時には連絡ください。またお会いしましょう。



循環器科
中村 尚太

2008年4月～2018年3月まで（年齢でいうと40歳から50歳）の10年間、勤務させていただき、天草で生まれた長男（第2子）は4月で小学校5年生になりました。それ以前の1997年4月～1999年3月、2003年4月～2005年3月にも勤務しておりますので、卒後25年間のキャリアのうち、14年間を大好きな天草で暮らすことができたことをとても幸せに感じております。私は一人っ子で、7年前に父親を亡くしておりますので、母親が熊本市に一人暮らししております。天草で独居高齢者の診療にあたる度、そろそろ戻らないといけないなと考えておりましたが、この度の人事異動で、くまもと森都総合病院へ赴任することになりました。10年間大変お世話になりました。



外科
外山 栄一郎

4年間大変お世話になりました。着任した際に「天草に腹腔鏡手術を根付かせる」という目標を立てておりましたが、十分に職責を果たすことができたように思います。今後も現有の外科スタッフと新任の澤山先生・原先生が力を合わせて天草の皆様の健康を支えてくれるものと信じております。病院のスタッフの皆さんをはじめとして支えて下さった医師会の先生方、私の診療にお付き合い頂いた患者様とご家族の方々、天草で出会った全ての人に心から感謝申し上げます。貴重な4年間を過ごさせていただきました。この経験を糧に新任地（荒尾市民病院）でも新たな目標をもって頑張ってまいります。本当にありがとうございました。



脳神経外科
等　泰之

天草には、2014年1月1日から赴任しまして、4年間あっという間に経ってしまいました。とても去りがたく寂しくて仕方がありません。最初からスタッフの方々はとてもアットホームな感じで働きやすく、安心して仕事ができました。患者家族の方など、地元の人々の雰囲気も“天草！”という感じはなく、フツーのいい人が多く救われた面もあります。忙しいときはバタバタしていましたが落ち着いた時期もあり、そんな時は美しい“ウグイス”の声や病院周囲の山の風景、きれいな空気、天上の美しい天の川などをまったり楽しんだ時もあったりしてました。

また、植村先生にゴルフを勧められて、日々練習場で汗をかき、両手に豆を作りながら、手首の関節も痛めつつ、鉄の棒を振り回して頑張りました。ぶくぶくだった体も少し筋肉質となり、ある朝、発作性心房細動発見！事件もありましたがアブレーション後は調子が良くなり、4年前よりは健康的になり、かなり寿命が延びた気がします。天草では、中枢神経系総合内科？としても役割もあり、様々な疾患の患者様を気安く受け入れてしまい、悪戦苦闘したこともありました。植村先生の神業的頚椎の手術も経験できるなど、いろんな面で医者として幅が広がったと思います。このような体験ができるところは関連施設としてはここしかなく、貴重な体験でした。ありがとうございました。

長年住んだ米国には是非帰りたいと思わせる魅力がありますが、天草もそれに劣らず「いいところだなー、帰りたくなるなー。」と思わせる不思議な魅力があります。多分地元の人はよく分かっていないと思いますが、、、。後は、工夫次第で世界にも有数のリゾートになる可能性を秘めた土地柄だと思います。みなさん、天草にプライドを持って頑張っていただきたいと思います。また、ときどき残業などでお邪魔することもあると思いますが、その際はよろしくお願いいたしまーーーす。



研修医
永芳　友

まだ何も知らない4月からあっという間に1年間が経過しました。医療センターの先生がた・スタッフの皆さん・そして医師会の先生がたにご迷惑をおかけしながらも色んなことを教えていただいた1年間でした。この経験を生かし次年度からは熊本大学医学部付属病院で精一杯研鑽を積み、また皆様のお役に立てるよう天草に帰ってくる所存です。この1年間本当にありがとうございました。



研修医
永芳 真理子

満開の桜を見て、長かった様な短かった様な1年間を振り返ると本当に多くの方々に支えられたことを改めて感じました。毎日が新しく貴重な経験の連続で不安なことも沢山ありましたが、見守られ力付けられて一歩ずつ成長できたのではないかと思います。

4月からは熊本大学病院に勤務しますが、12月に再び天草へ戻ってきます。初心を忘れずこれからも一生懸命頑張りますので、今後とも変わらぬご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



研修医
黒田 庄一郎

天草地域医療センター基幹型プログラムにて、1年間初期研修をさせていただきました。これからの人生の目標となるような先生方、スタッフの皆様方のおかげで充実した時間を過ごすことができました。4月から11月まで熊本大学附属病院にて研修を行い、12月に再び天草地域医療センターで研修させていただきます。初心を忘れず精進を重ね、いつの日か天草のお役に立てるように邁進して参ります。1年間ありがとうございました。



研修医
坂口 俊史

いつも大変お世話になっております。天草地域医療センターで研修医をさせて頂いております坂口です。4月からは熊本大学で研修をさせていただくこととなりましたので、ご挨拶申し上げます。1年という短い期間ではありましたが、天草地域医療センターの方々をはじめ、地域の皆さま方に御指導いただき大変充実した研修生活を送ることができました。天草を一時離れることとなりましたが、今後とも何卒宜しくお願い致します。

新任のご挨拶　よろしくお願いします



循環器科
永吉 靖央
（平成9年卒）

2018年4月より勤務させていただくことになりました永吉靖央と申します。専門は循環器内科です。3月までは阿蘇地域で勤務させていただいておりました。天草地域医療センターの活躍は以前から耳にしており、地域医療に従事する医師の目標としておりました。このたびその本場で勤務させていただくことになり身の引き締まる思いです。地域の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



脳神経外科
坪田 誠之
（平成12年卒）

脳神経外科の坪田誠之です。この春から熊本医療センターから当院へ赴任してまいりました。専門は脳神経外科全般ですが、脳血管障害や外傷の手術を主に行っています。

釣りが子供のころから好きで、天草には時々堤防釣りにきていました。これからも時々楽しみたいと思います。仕事も一生懸命頑張ります。腰を据えて地域医療に貢献できるように精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



外科
澤山　浩
（平成17年卒）

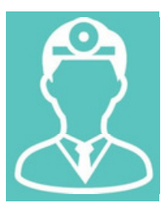
平成30年4月に熊本大学附属病院より天草地域医療センター外科に赴任致しました澤山浩と申します。前任地では、胃癌、大腸癌を専門とし、腹腔鏡手術、化学療法を中心に診療して参りました。天草では、ガイドラインに基づいた標準療法を、高いレベルで提供することを責務と考えております。すべての患者様に満足して頂けるように、また天草地域の開業医の先生方のご期待に添えるように精進して参ります。何卒宜しくお願い致します。



循環器科
花谷 信介
（平成18年卒）

この度、循環器内科医師として勤務させていただくことになりました、花谷と申します。平成18年に熊本大学医学部を卒業し、その後熊本中央病院、熊本大学医学部附属病院などで循環器診療や心血管疾患の研究に携わってまいりました。

これまでも月に一度外勤として天草へは来ておりましたが、いざ住んでみると思っていた以上に良い街で、仕事は忙しいものの楽しい日々を過ごしています。色々とご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、天草の循環器診療に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。



小児科
吉田 史則
（平成18年卒）

平成30年4月より赴任してまいりました小児科の吉田史則と申します。平成18年に熊本大学医学部を卒業し、小児科に入局後は熊本地域医療センター、熊本市民病院、延岡病院、熊本赤十字病院で勤務してきました。

家族を熊本に残し少し寂しい夜を過ごしてはおりますが、天草地域の小児医療に少しでもお役に立てるよう頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。



消化器内科
中島 昌利
（平成25年卒）

消化器内科の中島昌利と申します。平成25年宮崎大学医学部卒業後、国立熊本医療センター、熊本大学医学部付属病院、済生会熊本病院で勤務してきました。卒後6年目になります。天草に来てまだ1カ月程ですが、先生方や職員の方々が温かく迎えてくださり、とても充実した日々を過ごしています。まだまだ至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、天草地域の医療に少しでもお役に立てるよう日々努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



泌尿器科
浮池 昌二朗
（平成27年卒）

今年度から天草地域医療センター泌尿器科にて勤務させて頂くことになりました浮池です。医者としては4年目になりますが、まだまだ未熟者ですので謙虚に学ばせて頂こうと思います。天草は両親とドライブなどで何度か訪れたことがあります。まさか、特別なときに行っていた土地で働く事になるとは思わず不思議な気持ちです。趣味で競技用自転車に乗るので、天草一周を目標にしたいと思います。

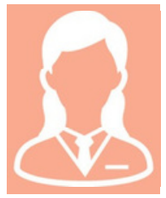
何かとご迷惑おかけするかと思いますが天草地域の診療の一助となるべく精進していきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。



代謝内科
八木 喜崇
（平成27年卒）

代謝内科の八木と申します。鹿児島大学を卒業後、国立病院、熊大病院で勤務してきました。現在医師としては4年目になります。

天草は殆ど初めてで不安でいっぱいでしたが、職員の方々、地域の方々が温かく迎えて下さり、楽しく仕事に打ち込むことができています。天草は食事もとても美味しいと聞いており、オフの時間もとても楽しみにしています。慣れないことばかりで御迷惑をかけることも多いとは思いますが、少しでも天草に貢献できるよう精進します。どうぞよろしくお願いいたします。



循環器科
永野 春香
（平成27年卒）

4月から天草地域医療センターで勤務させて頂くことになりました、循環器内科の永野春香と申します。福岡大学医学部を卒業後、済生会熊本病院で2年間初期研修を行い昨年熊本大学循環器内科に入局しました。循環器内科医としてまだまだ未熟者ですので、ご迷惑をおかけすることばかりだと思いますが御指導をよろしくお願いいたします。

天草に住むのは初めてなので不安もありますが、少しでも地域の皆様のお役に立てるように精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



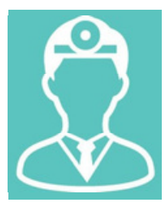
外科
原　淑大
（平成27年卒）

2018年5月より天草地域医療センター外科で勤務することになりました、原　淑大と申します。医師としては4年目ですが、外科医としては2年目のまだまだ駆け出しで、できることは多くありませんが、元々天草出身であり、生まれ育った天草の地で仕事ができることをうれしく思っています。ご迷惑をかけることも多くあると思いますが、少しでも役に立てるよう日々努力していきたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



研修医
山村 遼介
（平成30年卒）

4月より初期臨床研修医として1年間お世話になります。学生時代は熊本市内でずっと暮らしてきたので、海に囲まれた天草での生活はとても新鮮です。天草の地域医療についてしっかり学んでいくとともに少しでも貢献できたらと考えています。まだまだ未熟なところばかりでご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、精一杯頑張ってまいりますのでご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



研修医
松永 光平
（平成30年卒）

2018年4月より研修医として勤務させていただくことになりました松永と申します。熊本大学出身ですが、高校までは福岡県の小郡市というところにおりました。

スポーツは一応高校大学とテニスを続けておりました。また、大学からは茶道を始めました。インドア派だったのですが、天草に来たからにはアウトドア派に転向したいと考えておりますので休日誘っていただけると幸いです。

まだ社会人1年目でわからないことだらけでございますので至らない点も多々あるとは存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



研修医
松下 昂樹
（平成30年卒）

2018年4月より天草地域医療センターで研修医として働かせていただくことになりました、松下昂樹と申します。鹿児島県出身で、中学、高校は長崎の青雲に行き、1年浪人を経て、今年3月に熊本大学を卒業しました。

医師、社会人になってまだ1か月で皆さんにいろいろご迷惑をかけると思いますが、努力を積み重ね一歩一歩精進していきたいと思います。早く一人前の医師となれるように頑張ってまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願いします。



研修医
原　理大
（平成29年卒）

初期研修医2年の原理大です。昨年度は熊本大学医学部付属病院にて研修させていただきました。多くの先生・スタッフの皆様に暖かく指導していただきながら日々緊張感とやりがいを持って過ごしております。

現在は外科研修医として、経験豊富な上級医の先生方にご指導をいただきながら、多くの医学知識と手技の研鑽を積んでおります。研修医として天草の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願いいたします。



研修医
中嶋 仁美
（平成30年卒）

初期臨床研修医1年目の中嶋仁美と申します。この春から天草地域医療センターで働かせていただき、1か月が経とうとしています。天草出身ですので、大学を卒業して地元に帰ってきて働くことができ嬉しいです。現在は先生方やスタッフの方々にご教授いただき、充実した研修生活を送らせていただいております。社会人としても、医師としても、未熟者でありご迷惑をおかけすると思いますが、少しでも地域の皆様に役に立つことができるよう努力したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。





作業療法士
金棒 真裕子



理学療法士
岡田 涼太郎



理学療法士
寺元　瞬



臨床検査技師
荒平 静夏



医療連携室
白迫 真理子



事務職
浦口 美紀



事務職
福嶋 優美



看護師
4階南病棟
松下　恵



看護師
3階南病棟
森内 明莉



看護師
3階南病棟
村上 美紀



看護師
4階南病棟
山本 真衣



看護師
2階病棟
泉　晴菜



看護師
2階病棟
田中 花穂



看護師
4階南病棟
瀧本　舞



看護師
3階北病棟
髙田 乃有季

各診療科のご案内

総合診療科

総合診療科は、平成29年10月より天草地域医療センターにて外来診療を行っております。現在は、熊本大学附属病院地域医療・総合診療実践学寄附講座より2名が、それぞれ木曜と金曜の週2回の外来を担当しております。

総合診療科は、本年度から開始された日本専門医機構による新専門医制度で新たに総説された19番目の基本領域専門医でもあります。

総合診療科は、様々な健康問題に対して、特定の診療科、専門領域、臓器や疾病だけに係わらず、全人的に、包括的な診療を提供する診療科です。身体のどの臓器の問題なのか明らかでない、あるいは多彩な訴えや症状があり受診すべき診療科が明らかでない、といった成人の患者さんを総合的に診療させていただきます。必要に応じて専門診療科をご紹介させていただく場合や、総合診療科で継続して診療をさせていただく場合もあります。診療科の特性として、身体的な問題のみならず、心理的要因や社会的要因がもたらす健康への影響についても、可能な限り対応いたします。

このような方は、お気軽にご相談下さい。

- 症状の原因となる臓器や異常が分からない。（倦怠感、発熱、体重減少、むくみ、様々な所の痛みなど）
- いろいろな症状があり、どの診療科を受診すればよいか分からない。（複数の診療科が該当する場合や、複数の症状や疾患をお持ちのご高齢の方など）
- 現在かかっている病気に対する相談（専門的な説明が分からない、薬や治療のことで分からないなど）
- 治らない病気で困っている（がん、慢性進行性の病気、老化や疾患の今後に関わる問題など）
- 健康問題での不安がある（健康診断で異常、健康問題を害する生活習慣の改善、医療サービスの利用など）

受診ご希望の方は、かかりつけ医の先生に紹介状を書いていただいて、ご予約下さい。

編集後記

当センターでは、様々な部活動が行なわれております。その中でも今回は「駅伝部」と「バレーボール部」をご紹介します。駅伝部は毎年2月に開催されますＲＫＫ女子駅伝に20年以上も出場しており、毎回好成績を残しております。2月の極寒の中、何週間も前より練習を行いメンバー力を合わせ頑張っています。そして、バレーボール部は今年３月４日に開催されました「平成２９年度社会保険ミニバレーボール大会」において優勝を収めました。他にも様々な部活動を行っておりそれぞれにおいて日々頑張っております。



駅伝部



バレーボール部



これから、梅雨も明け本格的な夏が始まりますが、夏バテしないよう皆様ご自愛下さい。

文責：新聞広報委員　清田　千草